

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～



歯っぴ～通信

平成 20 年 4 月号 Vol.4

桜

の花を眺めながら・・・

手洗いやうがい

今回は、当院で使っている A P 水の紹介です。A P 水とは、除菌成分を含んだ中性の電解水のことです。汚れや細菌、ウイルス、カビなどに触れると効果を発揮します。当院では、スタッフの手洗いや器具の一次消毒、診療台などの除菌清掃に使っています。また、A P 水での手洗いうがい、風邪や歯周病などの予防に役立てていただきたいので、A P 水をお持ち帰りいただいています。空のペットボトルをお持ちただければ、無料でおわけしています。使い方も多くありますので、スタッフまで、お気軽に声をおかけください。



こんにちは、いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。今月も患者様とのコミュニケーションのための【歯っぴ～通信】をお届けしますね。4 月に入り、春爛漫という感じですね。県内でも多くの場所で桜が咲き、もうお花見に行かれた方もあるのでは？と思います。私のふるさとの御津町では、金川桜並木（かながわさくらなみき）という名所があります。宇甘川の土手にそって、いわゆるソメイヨシノが咲いてるんですね。河川敷でバーベキューなどもできるので、市街地にお住まいの方は、すこし足を伸ばされてはいかがでしょうか。先日知ったんですが、花見という習慣は、日本独特の習慣のようですね。奈良時代や平安時代には、桜（当時は山桜）の花を眺めながら、その年の農作物の豊作を占ったそうです。日本の年度初めが 4 月からというのもなんとなくあやうな気がします。4 月に入ると、進学や新級、就職や人事異動などで、環境が変わられた方も多いのでは、と思います。桜の花を見ながら、私自身も、また、新鮮な気持ちで、患者様と向き合いたいと背筋が伸びました。今後ともよろしくお願いします。

院長 池上誠

歯っとする話②～歯の神経をとりのぞくと!?～

さて、先月から、このレターを手にする人にとって少しでもお役に立てる内容ということで、歯に関するお話をさせてもらっています。今回は「歯の神経」についてのお話をさせていただきますね。「虫歯で歯が痛いのをなんとかして欲しい」という方に対して、最もてっとり早い処置が「神経を取り除く」という方法です。きっと耳にされたことがあると思います。しかし、我々が耳にする「神経」なんですが、実は、歯髓（しずい）と呼ばれるところで、神経繊維と毛細血管があるところのことを言ってるんですね。つまり、「神経を取り除く」ことは「毛細血管を取り除く」ことになり、歯に栄養素が送られなくなるんですね。したがって、かぶせや詰めものといった処置はするんですが、神経（毛細血管）を取り除くことで、そこから歯は劣化していくことになるんです。神経を取り除いた歯が、欠けてしまうといったトラブルが起こるのもそのせいなんですね。私は、歯科医師として、「患者様には、なるべく自分の歯で過ごしてほしい」という願いを持っています。したがって、できるだけ神経を残す方向での治療や処置を心がけています。また、神経に関わる前の段階での治療をお勧めしています。日頃からの予防と定期検診で、虫歯の早期発見、早期治療をこころがけてくださいね。

歯の強度チェックは、もうお済みですか？



もうご存知の方も多いかも知れませんが、いけがみ歯科クリニックでは、【歯の強度チェック】を行っています。「チラシは見たけど、まだしてないなあ」という方もいらっしゃるかもしれませんね。歯一本一本についての診断をさせてもらっています。一覧表になって、データで説明させていただきますので、気になる方は、お気軽におたずねください。

発行：池上誠

いけがみ歯科クリニック

〒700-0827

岡山市平和町6-27

WAKAビル2F

TEL(086)237-7731

西川沿い・岡山駅から10分